



4-体操女子専門部

副部長（委員長）（八王子学園八王子中学高等学校）

小田川 恵 一

今年度の課題

- ◇スポーツ祭東京(東京国体)で、体操競技男女総合優勝を果たすため強化策。
- ◇H26 南関東ブロック総体、体操競技・新体操大会の準備会議の充実。
- ◇都総体を含む都大会運営の危機となっている現状の打破＝体操競技の器具を、都内最低一か所への配備を強く要請する。

次年度以降の長期的な課題

- ◇H26 南関東ブロック総体、体操競技・新体操大会の成功。
- ◇都総体を含む都大会運営の危機となっている現状の打破＝体操競技の器具を、都内最低一か所への配備の実現とその手段。
- ◇専門部常任委員の養成＝体操競技経験者の教員採用の要請

平成 25 度の行事も、関係部署のご支援や多くの先生方のご協力により大半は終了し、残すところ 1 月の新体操種目別大会と 3 月の全国選抜大会のみとなり、各専門部同様に次年度の準備に忙しい毎日を過ごしております。

さて、今年度の北部九州総体 2013 では、体操競技で明星高等学校が団体総合初優勝に輝きました。また新体操団体競技では日本女子体育大学附属二階堂高等学校が第 16 位と健闘しました。個人では体操競技で村上茉愛(明星)が総合第 2 位に入賞し、種目別跳馬 1 位・ゆか 1 位・段違い平行棒 3 位・平均台 4 位と大活躍しました。笹田夏実(帝京)はゆかで 3 位に入賞しました。

また、ベルギー・アントワープで行われた第 44 回世界体操選手権では、日本の誇る内村航平が個人総合で 3 連覇し、我が専門部の現役高校生笹田夏実・村上茉愛も活躍をし『体操日本』を定着させていると思われます。今後も内村・笹田・村上選手とともに次代を担う選手が生まれてくれることを期待して我が専門部の運営も行ってゆきたいと思っています。

加盟状況

今年度の加盟校は 75 校でした。総計では前年度よりも 7 校増え、前年度未加盟の学校で再加盟も含む新規加盟が 11 校あり、前年度と比較すると結局のところ 9 校が加盟をしなかったこととなります。この背景には、都立高校等で、顧問教諭が学校を移動転勤した場合、ほとんどの学校で、危険という理由から廃部に追い込まれているということが推察できます。また反対に、7 校の新規加盟の理由は学校外の社会体育のクラブチームの選手がかなり増えてきていることが伺えます。この傾向は年々増えていくだろうと思われます。そのような状況を受け全国の高体連として、2005 年度からは引率・監督についてのルールが改正され施行されています。学校体育の中で活動している選手と、外部で活動している選手という違いはあるにしろ、同じ高校生の大会参加の機会を狭めてしまうのはどうかということで、ルール改正がなされ施行されましたが、本来の高校体育という考え方からは、少し外れているのではないかという意見もあり、多少複雑な思いがあるように思われます。

平成 25 年度の行事と成績

①専門部総会 4月13日(土)於 八王子学園八王子高等学校

②総合体育大会総合開会式 4月20日(土)於 都庁第一本庁舎 5 階大会議場

③東京都総合体育大会

兼全国高校総体東京都予選会

◎体操競技の部 6月16日(日)於 国士舘大学多摩キャンパス この大会の結果で上位 1 校及び個人 2 名が全国総体へ出場しました。

<団体総合>

1 位 明星高等学校	155.000
2 位 藤村女子高等学校	139.000
3 位 品川女子学院	133.300

4位 都立駒場高等学校	128.550
5位 富士見高等学校	100.600
6位 駒沢大学高等学校	88.900

<個人総合>

1位 村上 茉愛 (明星)	57.75
2位 笹田 夏実 (帝京)	55.85
3位 水永 葉月 (大智学園)	50.15
4位 沼田 冴 (藤村女子)	49.85
5位 田口 恵名 (明星)	47.85
6位 青鹿 七莉 (明星)	47.75

<跳馬>

1位 村上 茉愛 (明星)	14.85
2位 笹田 夏実 (帝京)	14.00
3位 田口 恵名 (明星)	13.80

<段違い>

1位 笹田 夏実 (帝京)	14.10
---------------	-------

<平行棒>

2位 村上 茉愛 (明星)	13.70
3位 水永 葉月 (大智学園)	13.05

<平均台>

1位 村上 茉愛 (明星)	14.30
2位 笹田 夏実 (帝京)	13.80
3位 沼田 冴 (藤村女子)	12.50

<ゆか>

1位 村上 茉愛 (明星)	14.90
2位 笹田 夏実 (帝京)	13.95
3位 水永 葉月 (大智学園)	13.20

◎新体操の部

6月23日(日)

於 戸板女子高等学校新

体操は、団体競技も個人競技も、年によって手具が決められていて、個人競技は2種目を実施しています。その中から団体1チーム(校)個人1名が、全国高校総体(インターハイ)に出場できるという大変狭き門の予選も兼ねられています。

<団体競技>

1位 日女体附二階堂高等学校	14.333	2位 藤村女子高等学校	14.100
3位 駒場学園高等学校	13.466	4位 戸板女子高等学校	13.183
5位 広尾学園高等学校	9.416	6位 文京学院大女子高等学校	8.150

<個人総合>

1位 安藤 彩音 (都立調布南)	23.000	2位 笠井 菜々子 (日本橋女学館)	22.350
3位 中城 玲奈 (都立芦花)	22.150	4位 阿部 麻由 (駒場学園)	21.550
5位 瀬尾 愛寿 (藤村女子)	21.200		

<フープ>

1位 中城 玲奈 (都立芦花)	12.000
2位 安藤 彩音 (都立調布南)	11.850
3位 横山 里緒 (朋優学院)	10.900

<リボン>

1位 笠井 菜々子 (日本橋女学館)	11.450
2位 安藤 彩音 (都立調布南)	11.150
3位 阿部 麻由 (駒場学園)	11.100

◎体操競技の部 5月11日(土)於 国士舘大学多摩キャンパスこの大会の結果で上位2校及び個人4名が関東大会へ出場しました。

<団体総合>

1位 藤村女子高等学校	131.850
2位 品川女子学院	129.750
3位 都立駒場高等学校	126.900
4位 明星高等学校	116.800
5位 駒沢大学高等学校	82.600

<個人総合>

1位 田口 恵名 (明星)	50.05
2位 青鹿 七莉 (明星)	48.00
2位 沼田 冴 (藤村女子)	48.00
4位 藤倉 朱里 (都立駒場)	46.30
5位 大和 佳菜 (品川女子)	43.80
6位 田嶋 慧美 (品川女子)	43.15

<跳馬>

1位 田口 恵名 (明星)	13.30
2位 藤倉 朱里 (都立駒場)	13.20
3位 石川 彩加 (藤村女子)	13.15

<段違い>

1位 田口 恵名 (明星)	12.30
---------------	-------

<平行棒>

2位 沼田 冴 (藤村女子)	11.30
3位 藤倉 朱里 (都立駒場)	11.10

<平均台>

1位 青鹿 七莉 (明星)	12.35
---------------	-------

2位 沼田 冴 (藤村女子)	11.60
3位 田口 恵名 (明 星)	11.50

<ゆ か>

1位 田口 恵名 (明 星)	12.95
2位 沼田 冴 (藤村女子)	12.25
3位 青鹿 七莉 (明 星)	12.00

◎新体操の部

新体操は、団体競技も個人競技も、年によって手具が決められていて、個人競技は2種目を実施しています。その中から団体2チーム(校)個人5名が、関東大会に出場できるという大変狭き門になっています。

5月6日(土)於東京

スポーツ文化館

<団体競技>

1位 日女体附二階堂高等学校	13.800
2位 駒場学園高等学校	11.400
3位 戸板女子高等学校	10.450
4位 玉川聖学院高等部	10.200
5位 藤村女子高等学校	9.500
6位 文京学院大女子高等学校	9.450

<個人総合>

1位 高浦 涼名 (都立片倉)	24.050
2位 中城 玲奈 (都立芦花)	22.100
3位 岩元 南美 (成立学園)	21.500
4位 阿部 麻由 (駒場学園)	20.800
5位 安藤 彩音 (都立調布南)	20.450
5位 笠井菜々子 (日本橋女学館)	20.450

<フープ>

1位 高浦 涼名 (都立片倉)	12.350	2位 中城 玲奈 (都立芦花)	11.550
3位 岩元 南美 (成立学園)	10.850		

<リボン>

1位 高浦 涼名 (都立片倉)	11.700	2位 安藤 彩音 (都立調布南)	11.250
3位 岩元 南美 (成立学園)	10.650		

⑤ 春季大会

◎体操競技の部

体操競技は、正式には跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかという器具を使って競技するものですが、東京都では、跳馬・段違い平行棒を備えている学校は非常に少なく、ゆかフロアーに至っては2校のみといったところ。全国的に見れば大抵の学校は跳馬・段違い平行棒は必要ということから備えている)そのような状況の中で、いかに体操を普及させるかということ、そして、高校から体操を始める選手でも、ある程度挑戦できるようにしたいということから、東京都女子体

操専門部が独自に考え、段違い平行棒を低鉄棒に替えて競技を行っています。また、体操競技も新体操も他府県ではほとんどが、公立体育館で競技会を行っていますが、東京都は、体操競技の出来る公立体育館はかろうじて1館だけであって、その体育館も、すべての器具が揃っている訳ではなく、かなりの器具をリース(百万円前後掛かります)しなければならないことも書き添えておきます。

○学年別3年生大会 5月5日(日)於 八王子スポーツセンター体操館

<団体総合>

1位 藤村女子高等学校	122.550
2位 都立府中西高等学校	118.300
3位 都立国立高等学校	108.550
4位 都立駒場高等学校	96.900
5位 錦城高等学校	95.800
6位 都立小山台高等学校	95.200

<個人総合>

1位 松村香菜子 (藤村女子)	47.65
2位 茂木 陽和 (都立駒場)	45.15
3位 関根 舞子 (都立府中西)	44.80
4位 今村 聡美 (藤村女子)	39.60
5位 大石 萌 (都立府中西)	36.95
6位 堀内 彩香 (都立国立)	36.80

<跳馬>

1位 茂木 陽和 (都立駒場)	13.25
2位 松村香菜子 (藤村女子)	12.95
3位 関根 舞子 (都立府中西)	11.15

<段違い>

1位 松村香菜子 (藤村女子)	11.20
-----------------	-------

<平行棒>

2位 関根 舞子 (都立府中西)	11.05
3位 堀内 彩香 (都立国立)	10.30

<平均台>

1位 関根 舞子 (都立府中西)	11.55
2位 松村香菜子 (藤村女子)	11.50
3位 茂木 陽和 (都立駒場)	11.15

<ゆか>

1位 松村香菜子 (藤村女子)	12.00
2位 茂木 陽和 (都立駒場)	11.30
3位 関根 舞子 (都立府中西)	11.05

○学年別2年生大会 6月9日(日)於 八王子スポーツセンター体操館

<団体総合>

1位 藤村女子高等学校	133.050
2位 富士見高等学校	113.550
3位 都立府中西高等学校	112.450
4位 錦城高等学校	102.050
5位 國學院高等学校	98.650

6位 鷗友学園高等学校	91.900
〈個人総合〉	
1位 星川 友美 (藤村女子)	46.00
2位 篠崎 夏実 (都立府中西)	44.05
3位 平岡 美樹 (藤村女子)	42.85
4位 梨子下実菜美 (藤村女子)	42.15
5位 松田 知晃 (藤村女子)	41.45
6位 堀川 智聡 (日体江原)	39.55
〈跳馬〉	
1位 星川 友美 (藤村女子)	11.60
2位 平岡 美樹 (藤村女子)	11.50
3位 青木亜莉咲 (鷗友学園)	11.30
〈段違い〉	
1位 星川 友美 (藤村女子)	11.20
〈平行棒〉	
2位 平岡 美樹 (藤村女子)	10.95
3位 梨子下実菜美 (藤村女子)	10.20
〈平均台〉	
1位 星川 友美 (藤村女子)	12.50
2位 篠崎 夏実 (都立府中西)	12.00
3位 松田 知晃 (藤村女子)	11.85
〈ゆか〉	
1位 篠崎 夏実 (都立府中西)	11.00
2位 星川 友美 (藤村女子)	10.70
3位 平岡 美樹 (藤村女子)	10.60
◎新体操の部	
○春季新人戦大会 5月6日(土) 於 東京スポーツ文化館既述した、関東大会予選の同期日・同会場で春季の新人戦も行われています。	
〈団体競技〉	
1位 日女体附二階堂高等学校	12.550
2位 駒場学園高等学校	11.250
3位 藤村女子高等学校	10.650
4位 玉川聖学院高等部	7.900
5位 東京朝鮮中高級	7.700
6位 文京学院大女子高等学校	6.700
〈個人総合〉	
1位 唐澤 鈴奈 (藤村女子)	17.850
2位 西山 愛結 (藤村女子)	16.700
3位 大門 美徳 (藤村女子)	16.350
4位 室井 麻美 (藤村女子)	15.900
5位 西澤亜祐美 (駒場学園)	15.600
5位 土屋 香奈 (都立杉並)	15.200
〈フープ〉	
1位 西山 愛結 (藤村女子)	8.500
2位 唐澤 鈴奈 (藤村女子)	8.250
3位 西澤亜祐美 (駒場学園)	8.200
〈リボン〉	

1位 唐澤 鈴奈 (藤村女子)	9.600
2位 大門 美徳 (藤村女子)	9.050
3位 室井 麻美 (藤村女子)	8.600

⑥ 種目別大会

◎体操競技の部 8月25日(日)

於 八王子スポーツセンター体操館

毎年夏期休暇中の終盤に、自由演技の種目別大会を実施しています。

◎新体操の部

毎年1月末に次年度に採用される手具も含んだ4種目を種目別に実施し、種目ごとの順位と学校ごとに4種目選抜メンバーをエントリーしての学校対抗競技を行っています。

⑦ 秋季大会

◎体操競技の部

○学年別1年生大会 10月27日(日) 於 八王子スポーツセンター体操館

〈団体総合〉

1位 藤村女子高等学校	124.750
2位 品川女子学院	118.750
3位 富士見高等学校	100.400
4位 都立府中西高等学校	85.450
5位 日体江原高等学校	82.250
6位 実践女子高等学校	81.700

〈個人総合〉

1位 鳥山 日和 (品川女子)	41.65
1位 角谷 柚香 (藤村女子)	41.65
3位 久岡 萌子 (藤村女子)	40.40
4位 今泉 奈緒 (駒沢大高校)	39.50
5位 井上 紗希 (藤村女子)	39.35
6位 池田 彩恵 (品川女子)	38.80

〈跳馬〉

1位 宮地 泉 (日体江原)	12.10
2位 今泉 奈緒 (駒沢大高校)	11.75
3位 角谷 柚香 (藤村女子)	11.70

〈段違い〉

1位 西山 苑実 (品川女子)	9.50
-----------------	------

〈平行棒〉

1位 鳥山 日和 (品川女子)	9.50
3位 井上 紗希 (藤村女子)	9.20

〈平均台〉

1位 篠田 佳奈 (藤村女子)	11.90
2位 宮地 泉 (日体江原)	11.10
3位 角谷 柚香 (藤村女子)	10.95

〈ゆか〉

1位 鳥山 日和 (品川女子)	10.45
2位 篠田 佳奈 (藤村女子)	10.25
3位 角谷 柚香 (藤村女子)	9.90

○秋季決勝大会

予選=11月3日(日)・決勝=11月4日(月)於八王子スポーツセンター体操館全出場校を2分して予選を行い、その結果でそれぞれ6チーム及び個人8名を予選通過として、翌日の決勝戦で順位を決めるといふ二部大会の最大の大会となっています。関東大会や全国総体に出場した選手は出られませんが、その一部を除き都内の高校女子選手としては、ほとんどの選手が決勝への出場・入賞を目標としている大会となっています。

<団体総合>

1位 藤村女子高等学校	134.450
2位 都立駒場高等学校	119.150
3位 富士見高等学校	118.600
4位 品川女子学院	117.700
5位 都立府中西高等学校	114.150
6位 日体江原高等学校	110.850

<個人総合>

1位 松村香菜子 (藤村女子)	47.35
2位 福島 侑紀 (都立駒場)	46.15
3位 星川 友美 (藤村女子)	44.55
4位 篠崎 夏実 (都立府中西)	43.65
5位 平岡 美樹 (藤村女子)	42.55
6位 宮地 泉 (日体江原)	42.00

<跳馬>

1位 松村香菜子 (藤村女子)	12.15
2位 福島 侑紀 (都立駒場)	11.85
3位 星川 友美 (藤村女子)	11.70

<段違い>

1位 福島 侑紀 (都立駒場)	10.80
-----------------	-------

<平行棒>

2位 松村香菜子 (藤村女子)	9.90
3位 篠崎 夏実 (都立府中西)	9.85

<平均台>

1位 松村香菜子 (藤村女子)	12.30
2位 星川 友美 (藤村女子)	12.00
3位 篠崎 夏実 (都立府中西)	11.40

<ゆか>

1位 松村香菜子 (藤村女子)	13.00
2位 福島 侑紀 (都立駒場)	12.80
3位 篠崎 夏実 (都立府中西)	12.00

○秋季新人戦大会 11月17日(日)於 戸板女子高等学校 次年度採用される種目の先取りをして行われる有効な大会となっています。また、3月に行われる全国高等学校選抜新体操大会の予選としての位置づけにもなっています。

<団体競技>

1位 駒場学園高等学校	12.650	2位 日女体附二階堂高等学校	11.800
3位 戸板女子高等学校	11.600	4位 藤村女子高等学校	11.500

5位 文京学院大女子高等学校	9.800	6位 富士見高等学校	9.050
----------------	-------	------------	-------

<個人総合>

1位 高浦 涼名 (都立片倉)	25.200
2位 安藤 彩音 (都立調布南)	23.550
3位 瀬尾 愛寿 (藤村女子)	22.400
4位 笠井菜々子 (日本橋女学館)	22.350
5位 小嶋 華子 (駒場学園)	21.950
6位 新島 萌加 (都立青梅総合)	20.500

<フープ>

1位 高浦 涼名 (都立片倉)	12.900	2位 安藤 彩音 (都立調布南)	12.450
3位 阿部 麻由 (駒場学園)	11.650		

<ボール>

1位 高浦 涼名 (都立片倉)	12.300
2位 笠井菜々子 (日本橋女学館)	11.350
3位 安藤 彩音 (都立調布南)	11.100

⑧関東大会 5月31日(金)～6月2日

(日)体操競技 山梨県緑が丘スポーツ公園体育館

新体操 山梨県小瀬スポーツ公園体育館

上記関東大会は、1週間後にNHK杯体操競技選手権大会が行われるため、東京のトップクラスの選手は出場を控えており、したがって上位入賞はほとんどなく終わりました。また新体操では、日女体大附二階堂高校が団体競技で4位に入賞しました。

⑨全国高等学校総合体育大会

今年度の「2013 未来をつなぐ北部九州総体」の体操競技・新体操大会は佐賀県で行われました。その際には我々専門部の常任委員は、1週間から10日あまり佐賀の地で多岐に渡り、準備の段階から運営の詳細に至るまで見せて頂きました。大変勉強になるとともに、東京都での開催に責任の重さを痛感して帰京して参りました。

体操競技 7月28日(日)～7月30日(火)於 佐賀県総合体育館既述した通り、明星高等学校が団体総合で初優勝に輝き(写真)、個人でも入賞しました。

新体操 8月2日(金)～8月4日(日)於 佐賀県総合体育館既述の通りです。

⑩全国選抜大会

体操競技=3月21(金)～22日(土)

於 愛知県スカイホール豊田 体操競技では、村上茉愛・青鹿七莉・(明星)、水永葉月(大智学園)、沼田 冴(藤村女子)の4名が出場します。

新体操=3月21(金)～23日(日)

於 岐阜メモリアルセンター新体操は、高浦 涼名(都立片倉)1名が出場します。怪我の無いよう健闘を祈っています。

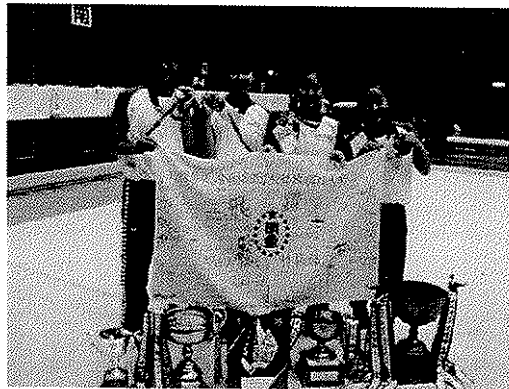
また今年度、永年にわたる強化練習会などを積み重ねて参りました、「スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会体操競技会」が 9 月末から 10 月上旬にかけ、八王子市の東京工科大学・日本工学院八王子専門学校の体育館を借用し開催されました。その際には中心役員として運営に携わせていただきましたが、お陰様で体操競技・新体操の 5 種別合計の男女総合優勝(写真)と女子の 3 種別合計の女子総合優勝の栄冠も手にすることが出来ました。(写真)これも、多方面から色々な点で支えて頂いた成果であると、感謝申し上げる次第です。国体の準備の段階から 5 年にわたり携わりましたが、体操協会としての実行委員会の立場と、高体連専門部代表としての強化練習会の立場と相俟って、すこぶる大変ではありましたが、よりよい結果を出せたのではないかと自負しております。実際の国体会期中は、八王子のホテルと大会会場の往復で 12 日間を過ごし、その半分ほどを欠勤という形で対処しました。(私立学校のため)仕方がないことではあると思いますが、東京都としてももう少し違った働きかけを勤務校にしてくれればと今になって思っています。ですが、もう二度と経験できないであろう国体の総合優勝を思えば、大変良い経験であってと感謝しております。

H26 南関東ブロック総体に向けて

いよいよ東京都開催の「煌めく青春・南関東総体 2014」の年になり、まだまだ準備がこれからの所もあり行き届いた受け入れができるかどうかわかりませんが、精一杯準備をしていこうと思っています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、前述はしましたが、大会運営にとって体操器具のすべて揃った体育館は必須条件でありながら、東京都には体操器具の備わった公立の体育館が一つも無いということは、嘆かわしいどころか他県に恥ずかしいとさえ思われます。(関東地区を考えると、悪くとも県立体育館には、体操器具がすべて揃っており、そのほかに各市の体育館に揃っている県も数県あります。)この現状は、あまり知られていないと思われ、この会報をご覧になった方は、東京都の体操競技環境の劣悪な状況を理解していただき、少しでも体操競技の発展のために、また『体操日本』の継続のために、ご理解ご協力をいただきたいと切に願っております。また、体操競技の東京インターハイに向けて既述したように選手育成にとっても器具がないというのは致命的であり、国体の強化練習会の予算のようなある程度まとまった強化費があったからこそ、器具を借りたり場所を借りたりと対処できましたが、インターハイに向けてはあまり予算立てがないということを聞いており、インターハイの選手強化どころか、インターハイの選手を決める都内の予選会すらできるかどうかかわからない現状に、専門部としては戦意喪失の状態であります。

罷り間違うと、開催地である東京の選手が、器具の皆無で予選会ができず、選手を選ぶことすらできずに、プログラムに穴をあけてしまうのではないかと危惧しております。どうしたらよいか、怒りさえ覚えます。『何とかしてくれ!!』という心境であるのは、隠せざる思いであることだけはここに訴えたいと思います。



平成 25 年度北部九州総体 明星高校 優勝



東京国体 男女総合優勝表彰式 小田川祥受



東京国体 男女総合優勝表彰式 東京選手団